

第48号

令和6年5月吉日

発行所
栃木県青年神職むすび会
広報委員会

発行人
和田晋典
印刷所

株式会社井上総合印刷

報
む
す
び
会



令和5年度定例総会

目次

会長挨拶	1
沖縄県戦没者慰霊祭	2
創立六十周年記念事業終了奉告祭 第二十七回一都七県神職野球大会	3
祭式研修会	4
能登半島地震への支援	4
栃木の神社巡り御朱印展	5
令和五年度 むすび会事業報告	6
令和六年度 むすび会役員・幹事氏名	7
新入会員、祝 御結婚・御誕生	8
賛助会員御芳名	9 10
協賛広告	11 12
編集後記、広報委員会名簿	14



会長挨拶

先ず以て本年元日に発災いたしました能登半島地震により犠牲になられた方々へ心より哀悼の誠を捧げますとともに、被災された方々の一日も早いご復興とご多幸をご祈念申し上げます。

扱、関係各位の皆様方には日頃より当会の諸活動に温かいご理解と格別のご尽力を賜り、誠に有り難く衷心より感謝申し上げます。先輩諸賢の多大なるご賛助と会員の皆さんのご協力を得まして、昨年度会長の任に就きましてより一年間、力不足ながら大過なく務めることができましたこと、重ねて御礼を申し上げます。

昨年度は、三年以上の長期に亘り変異を繰り返しながら猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症が五類感染症へと分類変更され、中止や縮小を余儀なくされていきました全国各地のイベントもコロナ禍以前同様かそれ以上の規模で盛大に開催されている様子が見られ、県内各神社におかれましても初詣や祭礼時等での賑わいを取り戻されていることと拝察いたします。

当会では、一昨年沖縄県本土復帰五十周年の節目に当たり創立六十年周年記念事業の一つとして「沖縄県戦没者慰霊祭並視察研修会」を計画しましたが、コロナ禍により止む無く延期をいたしました。それでも戦争体験のない青年神職として少しでも戦争に対する認識を醸成し、大切なご家族や日本国の為犠牲になられた多くの英霊に対し真摯に向き合い感謝する機会を設けるべく再計画をし、昨年六月によりよく実施することができました。

滞在期間中は台風一過の晴天に恵まれ、慰霊祭には栃木県護国神社、宮司稲寿久様を始め、沖縄栃木県人会「栃の葉会」会長菊地志乃様、副会長高久健治様、事務局長峰間雅世様、更には沖縄県神道青年会会長石底直樹様のご参列を賜り、厳肅裡に祭典を斎行いたしました。現地での視察研修を行い戦争というものの壮絶さを想像しながら、何気ない日常の尊さを顧み参加会員それぞれが気持ち新たに日々の神明奉

栃木県青年神職むすび会

第二十六代会長 和田 晋典

仕に努めることを決意するとともに、二度と繰り返してはならない惨事であることを再認識いたしました。

そして昨年九月四日の終了奉告祭の斎行をもちまして、当会創立六十周年記念事業は予定された全ての事業を完遂いたしました。事業遂行に際しご支援いただきました皆様、また多忙の中にも拘わらず一丸となり取り組んでくださいました越口実行委員長をはじめ会員の皆さんのご助力に改めて感謝申し上げます。

また同月十三日、十九日には当会の継続事業である御朱印展を開催いたしました。平成三十年より始まりました本事業は神道青年全国協議会定例表彰として令和四年最優秀事業賞を受賞いたしました。多くの皆様が本御朱印展のガイドブックを片手にご参拝をいただいている姿を目にし、この数年の事業の成果を実感しております。加えて本事業はご皇室や神宮奉賛等に関わる教化広報の場としても大きな役割を担ってまいりました。神社に関心の高い方から縁遠い方まで本御朱印展にご参拝のきっかけとなり良いご縁が結ばれますように、また次回神宮式年遷宮に向けました教化活動を含め引き続き内容を吟味しながら開催してまいりたいと思います。

少子高齢化が進む中、当会の会員数も急減し慣例の活動を維持することも困難な状況になりつつあります。その様な現状だからこそ、会員の皆さんのご協力が不可欠であることは言うまでもありません。役員も若手会員も関係なく、等しく神社界の未来に向け共に歩む仲間です。今後も忌憚なく意見を交換し互いに刺激を合いながら、研鑽と親睦を深めてまいりましょう。

会員一人一人が自己の神職像を確立し斯界の発展に寄与すべく、諸活動に取り組んでまいる所存でございますので、諸先輩方には一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

沖縄県戦没者慰霊祭

令和五年六月五〜七日昨年新型コロナウイルスの影響で延期していた沖縄県戦没者慰霊祭並びに研修を執行致しました。

一日目には、沖縄県護国神社を参拝し波上宮・普天満宮では正式参拝をさせて頂きました。夜には懇親会の場を設け、栃木県護国神社稲宮司様をはじめ沖縄県神道青年会石底会長や会員の方々、又、沖縄栃木県人会「栃の葉会」会長様にも御参加頂きむすび会員との懇親を深めました。

二日目には、今回の研修の目的である戦没者慰霊祭を執行致しました。越口実行委員長祭主の元、昨夜の懇親会に御参加頂いた方々にも御参列を頂き沖縄の太陽の日差しが照りつける暑い中祭典は滞りなく執行致しました。

慰霊祭終了後ひめゆりの塔へ行き沖縄戦に看護要員として動員されたひめゆり学徒隊の戦争体験を学びました。

戦争を知らない世代が人口の過半数を超え、戦争体験も風化しつつある今日、核の脅威にさらされる昨今の国際情勢を思う時、このような資料館での戦争体験を語り継ぎ、戦争の実相を訴えることで、再び戦争をあらしめないようにと思います。

この思いをひめゆりの心とし、永遠に世界平和を訴え続けることこそが、あたら尊い生命を失った生徒や職員の鎮魂と信じ、県内外各位のご厚意とご協力を仰いで、ひめゆり平和祈念資料館が建設されました。

最終日には旧海軍司令部壕に行き米軍の艦砲射撃に耐え、持久戦を続けるための地下陣地でカマボコ型に掘り抜いた横穴をコンクリートと杭木で固めた壕を見学しました。

慰霊祭を通して亡くなられた人の心に寄り添い、その功績や徳を偲びました。

日光二荒山神社 三田 真隆



創立六十周年記念事業終了奉告祭

令和五年九月四日月曜日、令和四年より始まり、会員一丸となって進めて参りました六十周年記念事業の終了奉告祭を、神社庁神殿にて斎行致しました。神社庁の篠田参事、また和田会長をはじめむすび会員十四名がそれぞれ参列し、厳かに執り行われました。祭典は六十周年実行委員会越口委員長を斎主として、他三人の祭員で奉仕されました。

越口委員長の祝詞の中では、医療従事者応援事業、沖縄慰霊祭など、この一年半の中で行われた事業があげられ、それぞれの事業の成果を、神社庁神殿を通して奉告しました。

思えばコロナウイルス感染症の感染防止を考慮した上での事業は、周年委員を始め会員を悩ませる一番大きな課題でありました。コロナウイルス感染症の感染が広がり、縮小、延期する事業もあり、なかなかうまくいかないことが多かったように思います。ですが、そんなときこそ越口委員長の指示のもと会員で互いに助けあい、すべての事業を終え、この終了奉告祭を滞りなく斎行出来たことは、とても喜ばしいことであると感じました。

今回の六十周年事業で培った経験を活かし、会員間の連携を更に深め、将来もむすび会が続いていけるように活躍していきたいです。

宇都宮二荒山神社 人見 圭祐



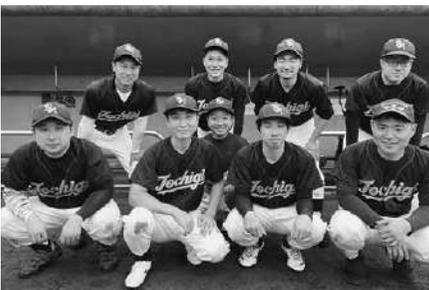
第二十七回一都七県神職野球大会

十月四日、大井ふ頭中央海浜公園野球場にて第二十七回一都七県神職野球大会が開催されました。

当日は朝から雨が降っており開催が危ぶまれましたが会場に着くころには雨も上がり試合を行うことができました。グラウンドは雨でぬかるんでおり非常に厳しいコンディションのなか初戦は茨城県と試合を行いお互い譲らない攻防を繰り広げ熱い試合となりましたが勝つことができました。次の群馬県との試合は交流会という形で行い投手はマウンドより前で緩いボールを投げお互い打ち合いで勝負を決めるといふものでした。群馬県から強力な助っ人を貸して頂いたおかげもあり、栃木県は全員安打を放つ活躍により勝利を収めることができました。

私自身高校生ぶりに野球の試合に出場しましたが久しぶりの緊張感とワクワク感を思い出すことができました。とても楽しかったです。思うような活躍ができ悔しい結果となりましたが、野球を通じて普段見ることのできない会員の皆様の姿を見ることができたことや、他都県の皆様と交流はとても有意義な時間でした。今後とも交流・親睦を深め神社界全体がより一層盛り上がることを期待しています。

日光二荒山神社 手塚 健太



祭式研修会

栃木県青年神職むすび会では、去る令和五年十月三十一日（火・先勝）に栃木県護國神社を会場として、祭式作法行事研修会を実施致しました。当日は和田会長をはじめ三十名の会員が研修に参加し、講師は栃木県祭式助教であります小山須賀神社禰宜沼部泰幸様がおつとめ下さいました。神社神道は「言挙せず」をうたい「慎みと行いの宗教である」との言葉があります様に、神様への気持ちを表すものが祭式であり作法はその基との気持ちから、会員皆気合を入れて研修に臨みました。沼部先生は、筋の持ち方・執り方から丁寧に指導下さり基本を忠実にひとつずつ解りやすくお進め頂き応用であります総合祭典までを一日で学びました。参加者それぞれに課題を見出し、気づきを得てより良い見直しができたことと思います。この祭式研修会での経験を活かし日々の社頭奉仕で疎かにすることなく精進してゆく所存であります。そして、社務ご多端にもかかわらず快く会場をご提供下さいました栃木県護國神社稲寿久宮司様に改めて感謝を申し上げます。

日光二荒山神社 権禰宜 須藤 茂成



能登半島地震への支援

令和六年元日に発生しました能登半島地震により、お亡くなりになられた方々やご家族の皆様にご配慮し、お悔やみを申し上げますとともに、被災した皆様に心よりお見舞い申し上げます。報告となりますが、栃木県青年神職むすび会では被災地への支援として災害支援用として備蓄してました水をはじめとした支援物資の寄付を行いました。地震において被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げますとともに、復旧・救済活動にご尽力されている皆さまに深く敬意を表し、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



栃木の神社巡り御朱印展

九月十三日より十九日まで、FKDショッピングプラザ宇都宮店にて御朱印展を開催しました。この会場にて御朱印展を行うのは令和元年以来二回目となります。

神社の教化活動の一環として県内神社の御朱印を展示し、御朱印を通じて神社を紹介するこの事業は社内外より大変好評を頂いております。平成三十年の創立五十五周年記念事業として始まった御朱印展も今回で七回目を迎え、むすび会でも恒例の事業となってきた感触もあります。

事業に先立ち県内の会員神社、又むすび会の先輩方の神社へ御朱印の提供を依頼したところ、本年は百四社の御朱印が集まりました。快くご協力頂きました宮司様方へ改めて感謝申し上げます。

開催前日より準備を始めました。以前にこの会場で開催した事もあり、準備は滞りなく進み大きなトラブルも無く準備が完了しました。開催期間中は会員複数名で白衣白袴を着て常駐し、パンフレットの配布やご来場頂いた方への対応、また新しく神棚を設けて神宮大麻を祭りたいたいという方へ簡易神棚の無償配布などの活動を行いました。

御朱印展では、神社本庁発刊のパンフレットの配布に加え、神宮大麻に関するパネルの展示と御朱印以外の展示も行っています。今回も千葉県青年神道会様よりモダン神棚の展示や、準備でお世話になっていた株式会社下野広告社様よりレゴで組まれた神棚の展示をご協力頂きました。いずれも既存の枠にとられない形状の神棚であり、現代の住宅に置いても調和するような形のもので従来の神棚では引け目があるという方へ紹介できる物となりそうです。こちらもご協力頂き誠にありがとうございました。

会員の尽力もあって目立ったトラブル無く無事に終えることができました。会場も盛況となり期間中は合計して五千人を越える方のご来

場を頂きました。コロナ禍による外出制限が行われ、外出の機会が少なくなつた事で以前より過熱していた御朱印ブームも終わってしまうと言う危惧も少なからず有りました。コロナが5類になった事で人でも見られる様になり、来場者数もコロナ禍前の水準に戻ってきた様に感じます。コロナ禍を乗り越えて、ブームと言う一過性のものではなく習慣として定着してきているのは嬉しく思います。御朱印の展示で留まらず、様々な展示を通して神社のことをより発信していける事業にしていければと思います。

宇都宮二荒山神社 矢部 貴也



令和五年度 むすび会事業報告

(令和五年)

四月七日 会計監査会

栃木県神社庁

四月七日 第一回役員・委員長会議

栃木県神社庁

四月十一日 第一回一都七県協議会定例会議

神社本庁

四月二十七日 新青協 第七十四回定例会議

神社本庁

四月二十八日 栃木県護国神社例祭助勤奉仕

栃木県護国神社

五月二十一日 とちのみ学園神棚祭

佐野市

五月二十二日 第二回役員・委員長会議

宇都宮二荒山神社

定例総会

六月五日 創立六十周年記念事業沖縄県戦没者慰霊祭

沖縄県

～七日 並びに研修旅行会

六月二十一日 第三回役員・委員長会議

栃木県神社庁

六月二十二日 一都七県協議会 定例総会

富士屋ホテル(箱根)

八月九日 第二回一都七県協議会定例会議

日本文化興隆財団

八月二十二日 神青協 夏季セミナー

神社本庁

～二十三日

八月二十八日 第四回役員・委員長会議

栃木県神社庁

九月四日 創立六十周年記念事業終了奉告祭

栃木県神社庁

九月十二日 御朱印展

FKD宇都宮店

～十八日

九月二十六日 神青協 創立七十五周年記念事業 国家平安祈願祭

波照間島

十月二日 第五回役員・委員長会議

栃木県神社庁

十月四日 一都七県協議会 第二十七回神職野球大会 大井スポーツセンター

十月二十五日 第三回一都七県協議会定例会議 神社本庁

十月三十一日 祭式研修会 栃木県護国神社

十一月二十七日 神青協 現代社会における神社の役割を学ぶウェブ研修会 WEB開催

十一月二十八日 第六回役員・委員長会議 栃木県神社庁

十二月 一都七県協議会 第四回定例会議・研修会 神社本庁

(令和六年)

二月五日 第七回役員・委員長会議 栃木県神社庁

二月八日 第5回一都七県協議会定例会議・研修会 東京都神社庁

二月十一日 建国記念日奉祝式典 栃木県護国神社

二月二十一日 埼玉県神道青年会創立七十周年記念式典 大宮ソニックシティ

三月七日 神青協 中央研修会 北海道

三月二十一日 一都七県協議会 研修旅行会 長野県方面

～二十二日

令和六年度 むすび会役員・幹事氏名

【役員】

会長	和田晋典	瀧尾神社	宮司
副会長	黒本裕子	大宮神社	宮司
副会長	小林誉史	星宮神社	禰宜
監事	武内聡史	報徳二宮神社	禰宜
監事	上野敬則	白鷺神社	禰宜
監事	越口政典	天満宮	禰宜
議長	田邊雅祥	岩崎神社	禰宜
事務局長	井上潤一	黒田原神社	禰宜
會計	小林勉寛	宇都宮二荒山神社	禰宜
庶務	三田真隆	日光二荒山神社	禰宜

【各種委員会 正副委員長】

【研修委員会】

委員長	山本明翔	日光二荒山神社	権禰宜
副委員長	須藤茂成	日光二荒山神社	権禰宜
副委員長	小幡仁	鹿島神社	禰宜

【広報委員会】

委員長	篠崎博哉	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副委員長	矢一部貴也	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副委員長	稲貴洋	栃木県護国神社	権禰宜

【事業・親睦委員会】

委員長	小堀匠人	島田八坂神社	宮司
副委員長	増渕直紀	太平山神社	権禰宜
副委員長	桜木悠人	今宮神社	権禰宜

【地区代表幹事】

中央地区 (宇河支部、宇都宮二荒山神社、栃木県護国神社)	篠田元暉	宇都宮二荒山神社	権禰宜
北東部地区 (芳賀支部、大前神社、塩谷支部、南・北那須支部)	小幡仁	鹿島神社	禰宜
西部地区 (上都賀支部、日光二荒山神社、古峯神社)	手塚健太	日光二荒山神社	権禰宜
南部地区 (下都賀支部、唐澤山神社、安佐支部、足利支部)	菱沼拓己	鷲宮神社	宮司

【二都七県・神青協関係】

神青協関東地区理事・一都七県理事	和田晋典	瀧尾神社	宮司
神青協代議員・神宮啓発委員	小林誉史	星宮神社	禰宜
神青協時局問題調査員	三田真隆	日光二荒山神社	権禰宜
神社新報社通信員	篠崎博哉	宇都宮二荒山神社	権禰宜

◇ 新入会員紹介 ◇



人見 光祐

奉職先 日光二荒山神社

役職 出仕

自分を一言で表現して下さい

元気

これからの抱負をお願いします

一生懸命神明奉仕に励みたいです



◇ 祝 御結婚 ◇

小堀 巧人

奉職先 島田八坂神社

入籍日 令和五年十一月二十二日

新婦氏名 琴乃

新郎のつばやき

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◇ 祝 御誕生 ◇

大塚 聡



名前 大塚 涼平

誕生日 令和五年十月十四日

子供への一言

元気で優しく、たくましく育ってほしいです。

むすび会
令和五年度
神職協賛者一覧

【宇河支部】

毛利正彦	宇都宮二荒山神社	権宮司
荒井和宏	宇都宮二荒山神社	禰宜
野崎正之	宇都宮二荒山神社	権禰宜
佐藤智則	宇都宮二荒山神社	権禰宜
江部幸男	平出神社	宮司
葭田孝	蒲生神社	宮司
葭田真彦	八坂神社	宮司
上野喜則	白鷺神社	宮司
小島教敬	八幡宮	宮司
萩野矢正美	天満宮	宮司
武内文明	高竈神社	宮司
加古英之	栃木縣護國神社	権禰宜
大柿文彦	日吉神社	宮司
外鯨泰子	智賀都神社	宮司
半田悦夫	今宮神社	宮司
阿部康夫	羽黒山神社	宮司

【芳賀支部】

柳田耕史	大前神社	禰宜
加藤昌治	大前神社	権禰宜
根本直樹	大前神社	権禰宜
齊藤隆倫	大前神社	権禰宜

【塩谷支部】

深津家久	大前神社	権禰宜
加藤直人	大前恵比寿神社	宮司
久松広樹	大前恵比寿神社	権禰宜
柳田晋作	祖母井神社	宮司
堀口邦夫	千代ヶ岡八幡宮	宮司
見目守生	星宮神社	宮司
越口正一	天満宮	宮司
塩田廸子	鹿嶋神社	宮司
横山裕哉	亀岡八幡宮	宮司
横山可依	亀岡八幡宮	禰宜
小幡正之	鹿島神社	宮司
小堀真洋	八雲神社	宮司
福田健二	安住神社	権禰宜
岩松一雄	津島神社	宮司
岩松史恵	津島神社	禰宜
小堀和則	星宮神社	宮司
佐藤明子	喜連川神社	宮司
和氣達郎	高原山神社	宮司
伊藤史展	塩竈神社	宮司
宮本勝利	箒根神社	宮司

【下都賀支部】

小林一成	太平山神社	宮司
林靖大	星宮神社	宮司
荒川育子	大神神社	権禰宜
櫻木琢也	諏訪神社	宮司
熊倉教裕	日枝神社	宮司
板垣喜充	春日神社	禰宜
山杉勝敏	八坂神社	宮司
栗原千早	胸形神社	宮司
沼部博成	須賀神社	宮司
沼部泰幸	須賀神社	禰宜
角田英之	高椅神社	宮司
栗原城治	八幡宮	宮司
栗原宏子	八幡宮	禰宜
海老沼堯	野木神社	宮司
黒川正邦	雄琴神社	宮司
黒川裕正	雄琴神社	禰宜
黒川寧子	雄琴神社	権禰宜
刀川治久	磐裂根裂神社	宮司
宇賀神義宣	鷺宮神社	宮司
小林靖	星宮神社	宮司

【安佐支部】

佐野正行
佐野由希子
永澤宏昭

唐澤山神社
唐澤山神社
朝日森天満宮

宮司
禰宜
宮司

【足利支部】

新井巖	雀神社	宮司
安蘇谷幸治	一瓶塚稻荷神社	宮司
長竹治	涌釜神社	宮司
毛利昭一郎	賀茂別雷神社	宮司
毛利晴喜	賀茂別雷神社	禰宜
八下田勇人	加茂別雷神社	宮司
影山幹男	宇都宮神社	宮司
木村直樹	示現神社	宮司
提箸照之	伊勢神社	宮司
三田万紀	伊勢神社	権禰宜
小野寺建富	日光鹿島神社	宮司
茂木啓一	八雲神社	宮司

神祭具 授与品 記念品 奉製



株式会社 **神路社**

本社
〒516-8611 三重県伊勢市岩洲2丁目5番29号(私書函第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑(東日本営業所)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
http://www.kamijisya.co.jp

全国各神社御用達

神符・守札・木札・錦守・御守矢・交通安全守
集印帳・御守り袋・絵馬その他各種御札・御守
奉書紙・書道半紙・耐水奉書・他各種和紙謹製

創業江戸時代後期 真心で奉仕する



今村紙業株式会社

代表取締役 今村和弘

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
電話 **055(272)0514**
FAX **055(272)8818**

営業品目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまわりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010(代表)
FAX (0282) 62-2061

各授与品、記念品奉製

金欄綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844



創業百年信頼ブランド

麻・鈴緒・鰐口紐・化繊注連縄製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
<https://momidiya.com/>

社寺建築請負い

株式会社 **石川工務店**

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地
TEL 0288-54-0750



総合広告代理業 Advertising Agency.

株式会社 **下野広告社**

取締役会長 山本 守

〒320-0033 宇都宮市本町9-17
☎ 028-666-8123 / Tel(代表)

授与品・記念品御奉製

株式会社 **長谷川製作所**

代表取締役 長谷川義貢

HASEGAWA
creation with warmth



〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町 466-1
TEL: 048-921-1221 / FAX: 048-921-1515



総合広告代理業 Advertising Agency.
株式会社 下野広告社

取締役会長 山本 守

〒320-0033 宇都宮市本町9-17
 ☎ **028-666-8123** / Tel(代表)

漆工・極彩色・剥落止・単色塗・鍍金具・金箔・壁画及蒔絵
 (建造物の復元、保存工事・美術工芸品制作及修理) 請負施工



株式会社
小西美術工芸社

東京本社 東京都港区芝 4-4-5 三田 KMビル3F
 電話 03-5765-1481 / FAX 03-3455-9250
 日光支社 栃木県日光市所野 2829-1
 電話 0288-54-1198 / FAX 0288-54-1196

創業 明治以前



各種御神符・守札 その他授与品全般

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)
 TEL(0596)22-2442(代表) FAX(0596)28-8445
 info@ise-minato.co.jp http://www.ise-minato.co.jp

神棚に御礼をおまつりし
 家内の安全をお祈りいたしましょう




板葺神棚(中) 外寸:幅46×高44×奥20cm
 内寸:幅12×高32×奥9cm
 10,000円(税込) №.744

洋風神棚 外寸:幅20.6×高30.6×奥8.2cm
 内寸:幅10.5×高22.5×奥4.5cm
 2,000円(税込) №.1868

茅葺神棚(中) 外寸:幅57.5×高51.5×奥37.5cm
 内寸:幅19.5×高32×奥13cm
 50,000円(税込) №.748

※茅葺神棚・板葺神棚の大きさは各(大)(中)(小)がございます。他に懸掛け用神棚もございます。
 種類・寸法など詳しくは神宮会館公式通販 (<http://jingukaikan.shop/>) をご覧ください。

TEL **0596-22-0001** FAX **0596-22-1517**
 公式通販 <http://jingukaikan.shop/> E-mail tsuhan@jingukaikan.jp

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。



グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
 TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996

総合印刷

(株)井上総合印刷

代表取締役会長 井上 光夫
 代表取締役社長 井上加容子

本社 宇都宮市岩曾町1355
 TEL(028)661-4723(代)
 FAX(028)662-7607

ご協賛いただき
 ありがとうございます。



◇ 編集後記 ◇

先ず、本年元日に発生いたしました能登半島地震により犠牲になられた方々やご家族の皆様にご挨拶を申し上げますと共に、被災した方々に心よりお見舞い申し上げます。被災された方々の一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

この度も多くの賛助会員の皆様、協賛社の皆様、諸先輩方やご協力いただきました会員関係者の皆様のお蔭をもちまして『会報むすび 第四十八号』が無事に発行出来ましたことを心より御礼申し上げます。

さて、令和五年度は新型コロナウイルス感染症が五類感染症へ移行し、むすび会の諸行事がコロナ禍以前同様に活発に行えましたこと、誠に喜ばしい限りです。

また、昨年度よりの継続事業である六十周年記念事業が大取の沖縄県戦没者慰霊祭を恙なく斎行でき、記念事業終了奉告祭を以て完遂しましたことも、お力添えを頂けた皆様のお蔭と存じます。

この経験を活かし日々の当会の活動に邁進し、来る六十五、七十周年へ後世へも継承してゆければと思います。

結びに、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

広報委員会 名簿

委員長	篠崎博哉
副委員長	矢部貴也
副委員長	稲貴洋
委員	中田明
委員	栗原義宜
委員	大塚聡
委員	半田誠也
委員	田名網健太
委員	手塚健太

栃木県青年神職むすび会 頒布品



着帯のお祝い (安産祈願) 腹帯 〈岩田帯〉

頒布価格 (1箱) **1,000円** (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分 (約3m) に裁断し、高級感ある桐箱に納めました。

中の帯は、縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)

注文からお届けまで、お時間をいただく場合があります。

納期に余裕をもって、ご注文ください。

ご注文
問い合わせ

〒326-0337 足利市島田町949 (島田八坂神社内)

栃木県青年神職むすび会

事業・親睦委員会 委員長 小堀 巧人 宛

【ご注文はFAXにて受付致します】

FAX.0284-22-4473

TEL.0284-22-4472

